

9 参加申込

(1) 参加申し込み

右記二次元コード または 本校ホームページより、参加申込フォームに必要事項をご記入の上 **5月22日(金)まで**にお申し込みください。

※フォームから申込ができない方は、別紙申込用紙にご記入の上、e-mailまたはFAXでお送りください。



(2) 参加費 一般：3,000円 学生：500円

- ① 参集型で参加する方：当日、受付でお支払いください。
- ② オンデマンド型で参加する方：5月25日(月)までに口座振込にてお支払いください。

振込先 北日本銀行(金融機関コード：0509) 加賀野支店(店番号：059)
 普通口座 1075906 岩手大学教育学部附属中学校 研究部 ヤマカゲ リエ 山蔭理恵

(3) 昼食(弁当1,200円 お茶付き)をご希望の方は、お申込の際に併せてご注文ください。

10 その他

(1) 本校には駐車スペースがありません。自家用車でお越しの際は、盛岡バスセンター周辺の駐車場等をご利用ください。その周辺から本校までは、徒歩で約10~15分です。

(2) 公共交通機関ご利用の場合は以下の通りです。

- ・バス(岩手県交通)…盛岡駅発「つつじが丘団地行き」、「水道橋行き」附属中学校前下車すぐ
 バスセンター発「つつじが丘団地行き」附属中学校前下車すぐ
- ・タクシー……………盛岡駅から約15分



お問い合わせ

岩手大学教育学部附属中学校【総務：佐々木篤史、研究：山蔭理恵】
 〒020-0807 岩手県盛岡市加賀野三丁目9番1号
 [TEL] 019-623-4241 [e-mail] ftb@iwate-u.ac.jp



岩手大学教育学部附属中学校 令和8年度 第35回学校公開教育研究発表会 ご案内 (第2次)

陽春の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育研究活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

本校では、令和5年後期より「自他のウェルビーイングの実現を目指す学びの構想」を研究主題とし、3年計画で研究に取り組んで参りました。令和6年5月に第34回学校公開教育研究発表会を実施し、350名を超える先生方のご参会を賜り、貴重なご意見をいただきました。また、昨年度は、年間を通じて拡大校内研究会を実施し、述べ100名を超える先生方に生徒の学びの姿をご覧いただきました。

本年度は、研究計画の最終年次にあたります。昨年度までの反省を踏まえ、さらに研究を深化させるべく取り組んで参りました。

つきましては、下記の日程および内容で授業公開および分科会を開催いたします。ご多忙の折とは存じますが、多数の皆様のご参会をいただき、ご指導、ご助言を賜りますよう、ご案内を申し上げます。

令和8年4月 岩手大学教育学部附属中学校 校長 菊地 洋一

研究主題

自他のウェルビーイングの実現を目指す学びの構想(最終年次)

- 1 期 日 令和8年 **5月29日(金)**
- 2 会 場 **岩手大学教育学部附属中学校**
 [〒020-0807 盛岡市加賀野三丁目9番1号 TEL.019-623-4241 FAX.019-623-4243]
- 3 主 催 **岩手大学教育学部附属中学校、岩手大学教育学部**
- 4 後 援 岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会、岩手県中学校長会、岩手県小学校長会
 盛岡市立上田中学校、盛岡市立黒石野中学校、盛岡市立仁王小学校
 盛岡市立緑が丘小学校、岩手大学教育学部附属幼稚園、岩手大学教育学部附属小学校
 岩手大学教育学部附属特別支援学校

5 日 程

| | | | | | | | | | | |
|------|-------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 8:30 | 9:00 | 9:45 | 10:00 | 10:50 | 11:10 | 12:00 | 13:00 | 14:30 | 14:50 | 16:30 |
| 受付 | 全体会 趣旨説明 | 移動 | 公開授業Ⅰ | 移動 | 公開授業Ⅱ | 昼食 | 分科会 | 移動 | 講演会 | |

6 公開授業

| 公開授業Ⅰ 10:00～10:50 | | | |
|-----------------------|----|--------|--|
| 教科等 | 学級 | 授業者 | 単元・題材名(予定) |
| 国語 | 2D | 小原 紳 | 説明的文章 |
| 社会 | 2C | 小笠原 一隆 | 歴史 第4章 近世の日本 ～地方と中央から見る天下統一～ |
| 数学 | 1B | 金 祐輝 | データの分析と活用 |
| 理科 | 3A | 會津 響平 | 単元3 運動とエネルギー ～生徒の問いを起点とした科学的探究～ |
| 音楽 | 1D | 立花 健祐 | アンサンブルによる創作表現 |
| 美術 | 2A | 佐藤 陽 | 心のイメージ ～絵画・抽象表現～ |
| 技術 | 3C | 藤澤 世志彬 | D(3) 計測・制御の技術による問題の解決 ～新たな社会を技術の力で創造する～ |
| 道徳 | 3B | 中村 高志 | D(22) よりよく生きる喜び「足袋の季節」 |
| ヒューマン セミナー (総合) | 1A | 小原 翔太 | これから自分にできることは何か ～自分を見つめ「地域」と自分を重ねて～ |

| 公開授業Ⅱ 11:10～12:00 | | | |
|-----------------------|----|--------|--|
| 教科等 | 学級 | 授業者 | 単元・題材名(予定) |
| 国語 | 1D | 三上 潤也 | 文学的文章 |
| 数学 | 2C | 田村 敬済 | 連立方程式 |
| 理科 | 2A | 佐々木 聡也 | 単元3 天気とその変化 ～生成AIを活用した科学的探究～ |
| 英語 | 1C | 工藤 卓大 | Lesson2 My Hero |
| 保体 | 2B | 廣瀬 晴菜 | ゴール型 アルティメット |
| 学活 | 3D | 多田 忠好 | 学級活動(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 |
| 学校保健 | | 川原 絵美 | ヒヤリハットシートの取組を通して考える安全な行動 |
| ヒューマン セミナー (総合) | 3C | 鈴木 駿 | 新たな社会を創造していく私たちが大切にすべきことは何か ～教科・領域を超えた議論～ |

※ 学校保健は分科会(13:00～14:30)のみ開催します

公開の実施形式について 参集型・オンデマンド型で開催します ※オンデマンド型…参加者が後日配信を視聴する
公開授業・講演会 → 【参集型】・【オンデマンド型】 分科会 → 【参集型】のみ

7 分科会

| 分科会 13:00～14:30 | | | | |
|-----------------------|-----------------|------------------------------|---|------------------------|
| 分科会名 | 運営責任者 (本校職員) | 共同研究者 (岩手大学教育学部) | 助言者 | 司会者 |
| 国語 | 三上 潤也 | 准教授 船越 亮佑 | 岩手県教育委員会事務局学校教育室 主任指導主事 太田 和成 | |
| 社会 | 小笠原一隆 | 講師 宮崎 嵩啓 | 岩手県教育委員会事務局学校教育室 主任指導主事 七木田 俊 | 盛岡市立上田中学校 教諭 帷子 武洋 |
| 数学 | 金 祐輝 | 教授 中村 好則 准教授 佐藤 寿仁 | 岩手県教育委員会事務局学校教育室 主任指導主事 岩淵 拓史 | |
| 理科 | 佐々木聡也 | 准教授 久坂 哲也 | 岩手県教育委員会事務局学校教育室 指導主事 餘目 崇史 | |
| 英語 | 工藤 卓大 | 教授 ホール・ジェームズ | 岩手県教育委員会事務局学校教育室 主任指導主事 芳門 淳一 | |
| 音楽 | 立花 健祐 | 准教授 白石 文子 | 岩手県教育委員会事務局学校教育室 主任指導主事 嵯峨 文裕 | 盛岡市立上田中学校 教諭 稲垣 友枝 |
| 美術 | 佐藤 陽 | 講師 福田 紗也佳 | 岩手県立総合教育センター 研修指導主事 北條 優美子 | 盛岡市立黒石野中学校 教諭 路奥 千尋 |
| 保健体育 | 廣瀬 晴菜 | 准教授 清水 将 | 岩手県教育委員会事務局保健体育課 主任指導主事 柴田 尚生 | |
| 技術・家庭 (技術分野) | 藤澤世志彬 | 准教授 早坂 良 | 岩手県立総合教育センター 研修指導主事 加藤 佳昭 | 盛岡市立上田中学校 教諭 菅原 恵彦 |
| 道徳 特別活動 | 中村 高志 多田 忠好 | 准教授 室井 麗子 准教授 小柳 亜季 | 盛岡教育事務所 主任指導主事 八重樫 英広 岩手県教育委員会事務局教育企画室 主任指導主事 土佐 卓 | |
| 学校保健 | 川原 絵美 | 准教授 本山 敬祐 | 岩手県教育委員会事務局保健体育課 指導主事 山生 睦 | 盛岡市立黒石野中学校 教諭 泉澤 淑子 |
| ヒューマン セミナー (総合) | 小原 翔太 | 教授 田代 高章 | 岩手県立総合教育センター 主任研修指導主事 西澤 孝司 | |

8 講演会 「世界の教育はどこへ向かうか 能力・探究・ウェルビーイング」
講師 白井 俊氏



<講師プロフィール>

東京科学大学理事・副学長
2000年に文部省(当時)に入省後、OECD(経済協力開発機構)教育スキル局アナリスト、文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室長、独立行政法人大学入試センター試験・研究統括補佐官(兼)試験企画部長、文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課教育制度改革室長、同国際統括官付国際戦略企画官、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官、東京科学大学執行役員副学長等を歴任し、2026年より現職。
著書に『OECD Education2030プロジェクトが描く教育の未来』(ミネルヴァ書房 2020)、『世界の教育はどこへ向かうか 能力・探究・ウェルビーイング』(中公新書 2025)がある。